

環境経営活動レポート

2023年度版

(期間 : 2023年1月1日から2023年12月31日まで)

1. 環境方針
2. 事業活動の概要
3. 環境負荷の実績及びその目標
4. 環境活動計画・実績, 取組状況及び評価
5. 「環境への取組の自己チェック」の結果
6. 環境目標の実績と評価結果
7. 次年度環境活動計画
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果一覧及び違反, 訴訟等の有無
9. 代表者の見直し議事録

承認	作成	
経営者	管理責任者	事務局
宝和 2024. 3. 1 大井	宝和 2024. 3. 1 佐々木	事務局代行 2024. 3. 1 菅原希保

2024年3月1日

宝和化学株式会社

改訂履歴		
改訂日	改訂内容	管責
2024/9/18	誤記訂正	佐々木

1. 環境方針

環境経営方針

【基本理念】

全ての事業活動及び経営において、主体事業である自動車関連事業を通じて顧客ニーズに答え得る性能と品質を追求すると共に環境への負荷低減を課題とする取り組みを実施し、地球環境の保全に貢献する。

【環境方針】

宝和化学株式会社は、全事業と全組織において、以下の項目を推進する。

- 1 環境汚染の予防推進及び環境経営システムの継続的改善を図り、事業活動及び経営による環境への影響が常に適切であること。
- 2 環境経営の取組みの中で利益体質構築及び人材育成に貢献する活動を目指す。
- 3 環境方針、環境目標、環境活動計画を従業員に周知する。
- 4 関連する環境法規、条例及びその他の規制事項を遵守する。
- 5 以下の項目を環境活動の重点テーマとして取り組む。
 - ①企業活動のあらゆる面で、節電節水等省エネルギーに心掛け二酸化炭素の排出を抑制する。
 - ②産業廃棄物の排出を抑制するとともに、再生再利用に努める。
 - ③特定化学物質の使用には、関連法規の遵守と使用量の削減に努める。
 - ④外部からの意見や苦情、問合せに適時対応する。

本方針は、関係各位に周知徹底し実施する。

改訂	2021年10月	1日
改訂	2018年	4月 1日
改訂	2010年10月	1日
改訂	2009年10月	1日
改訂	2007年11月	1日
改訂	2007年	4月 1日
改訂	2006年11月	1日
制定	2005年	5月30日

(年度確認 2023年 1月13日)

宝和化学株式会社
取締役社長

落合 徹哉

2. 事業活動の概要

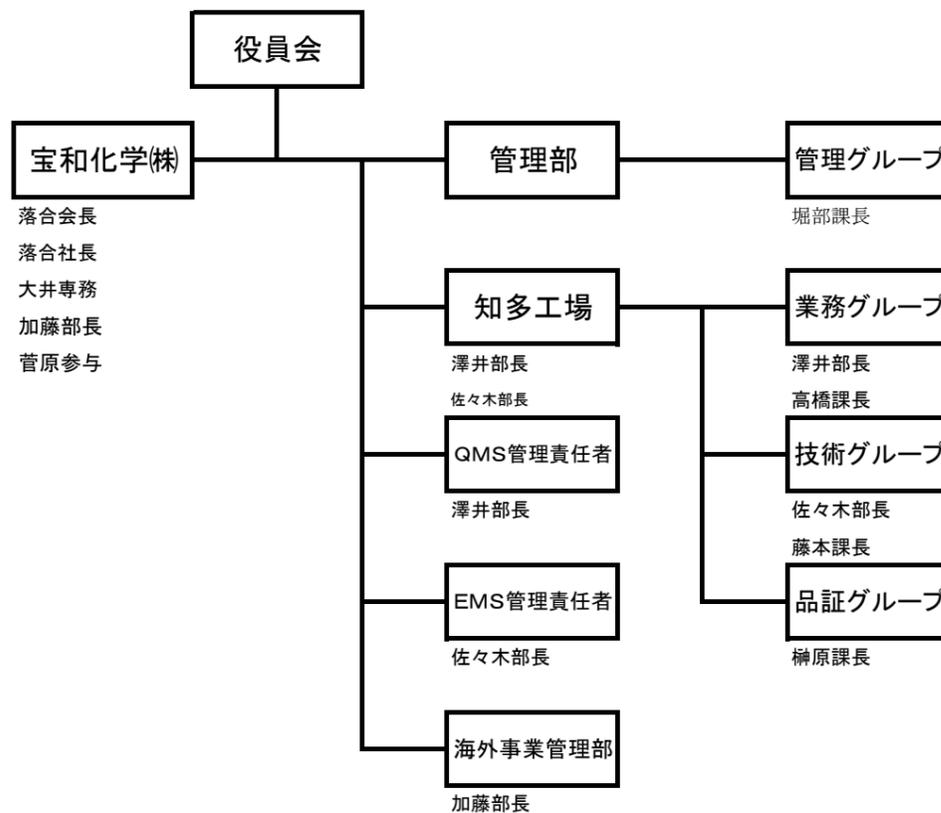
承認	管理責任者	事務局
		

- ・ 会社名 (エコアクション21認証登録事業者)
宝和化学株式会社
- ・ 代表者名
取締役社長 落合 徹哉
- ・ 所在地
本社 愛知県名古屋市熱田区六番三丁目15番20号
知多工場 愛知県知多市新刀池二丁目32番1号
- ・ 環境保全課関係の責任者及び担当者
環境管理責任者 佐々木敏幸
- ・ 連絡先
知多工場 TEL (0562) 54-1620 事務局 菅原希保
FAX (0562) 54-1633
- ・ 事業内容
自動車・電動車椅子用座席、自動車内装部品、住生活関連機器(椅子、沐浴ユニット、ベット・マットレス等)の設計・開発及び製造
- ・ 対象範囲
全組織・全活動・全従業員を対象とし、全社的に取り組む
- ・ 事業規模
資本金 50百万円
設立年月日 1968年3月26日
売上高 3004百万円(2023年12月末現在)
社員数 95人(2023年12月末現在)
工場延床面積 3023 m²

・ 事業規模の推移

		2021年	2022年	2023年			2024年	2025年
活動規模	単位	実績	実績	目標	実績	前年比	目標	目標
主要製品生産量	t	2,101.6	2,222.5	2,000.0	2,599.6	117.0%	2,000.0	2,000.0
売上高	百万円	2490.6	2645.5	3000	3004.4	113.6%	2740	2740
従業員	人	89	98	90	95	96.9%	90	90
工場延床面積	m ²	3,023	3,023	3,023	3,023	100.0%	3,023	3,023

・ 実施体制



3. 環境負荷の実績及びその目標

(環境への負荷の状況＝取りまとめ表)

主たる環境負荷物質の削減と防災への目標及び実績は以下の通りです。

承認	管理責任者	事務局
		

目標及び実績項目	単位	2021年 実績	2022年 実績	2023年			2024年 目標目安	2025年 目標目安	2026年 目標目安	
				目標	実績	前年比				
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	Kg-CO ₂	310,844.1	299,180.8	340,000.0	290,165.2	97.0%	281,460.2	273,016.4	264,825.9
	()	Kg-CO ₂								
② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物(木くず・紙くず類)	t	13.39	10.44	10.00	11.69	112.0%	11.34	11.00	10.67
	一般廃棄物	.								
	産業廃棄物 (リサイクル)	t	103.30	69.79	93.0	76.59	109.7%	74.29	72.06	69.90
	産業廃棄物 (中間処理等)	t								
③-1 総排水量	産業廃棄物 (最終処分量)	t				1.40				
	公共用水域(河川)	m ³	750.5	687.0	666.0	677.0	98.5%	656.7	637.0	617.9
③-2 水使用量	下水道	m ³								
		m ³	750.5	687.0	666.0	677.0	98.5%	656.7	637.0	617.9
	工業用水	m ³								
④ 化学物質使用量	地下水	m ³								
	SINCOL フォームボンド	Kg	392.0	421.4	420.00	364.0	86.4%	353.1	342.5	332.2
⑤ 総エネルギー使用量										
	購入電力	MJ	4,293,125.0	4,010,551.6	3,890,235.0	4,071,301.0	101.5%	3,949,162.0	3,830,687.1	3,715,766.5
	化石燃料	MJ	452,179.6	454,470.7	440,836.0	423,539.9	93.2%	410,833.7	398,508.7	386,553.4
	新エネルギー その他	MJ								
⑥ 物質使用量	資源使用量	t	2,206	2,318	2,249	2,689	116%	2,609	2,530	2,454
		t								
⑦ サイトで循環的利用を行っている 物質等	利用された物質量	t				76.59		74.3	72.1	69.9
	水の使用量	m ³								
⑧ 総製品生産量又は総製品販売量	製品生産量等	t	2,102	2,223	2,156	2,600	117.0%	2,678	2,758	2,841
⑨ 環境教育等の実施		回	18	18	20	23	127.8%	20	20	20
⑩ 火災・漏洩事故件数		件			0	0	0.0%	0.0	0.0	0.0
⑪ 環境効率 (売上高/二酸化炭素1トン)		百万円/ton-CO ₂	8.01	8.84	9.00	10.35	117.1%	9.50	9.50	9.50

・目標は、別途『環境活動計画表』の活動目標欄に明記する各項目を優先し、当表では年度比較の目標目安とする。

・温室効果ガス排出量の排出係数は0.449kgCO₂/kWh(2021年度中部電力)

5. 「環境への取組みの自己チェック」の結果

承認	管理責任者	事務局
		

施策内容	チェックリスト 総チェック 項目数	2018年6月13日 チェック					2019年11月4日 チェック					2021年1月16日 チェック					2022年11月25日 チェック					2024年1月23日 チェック				
		チェック 項目数	取組 評価	チェック 結果の 場合の 満点の 場合の 点数	実施実 施 度合 (%)		チェック 項目数	取組 評価	チェック 結果の 場合の 満点の 場合の 点数	実施実 施 度合 (%)		チェック 項目数	取組 評価	チェック 結果の 場合の 満点の 場合の 点数	実施実 施 度合 (%)		チェック 項目数	取組 評価	チェック 結果の 場合の 満点の 場合の 点数	実施実 施 度合 (%)		チェック 項目数	取組 評価	チェック 結果の 場合の 満点の 場合の 点数	実施実 施 度合 (%)	
		A	取組 チェック	(評価点)	(B÷C)×100		A	取組 チェック	(評価点)	(B÷C)×100		A	取組 チェック	(評価点)	(B÷C)×100		A	取組 チェック 項目率	(評価点)	(B÷C)×100		A	取組 チェック 項目率	(評価点)	(B÷C)×100	
				B	C	D	A		B	C	D	A		B	C	D	A		B	C	D	A		B	C	D
1 事業活動へのインプットに関する項目	106	67	○	162	290	55.9	46	○	144	232	62.1	65	○	186	258	72.1	70	○	174	236	73.7	71	○	185	244	75.8
1)省エネルギー	63	39		101	174	58.0	22		67	108	62.0	37		104	152	68.4	39		88	132	66.7	40		86	138	62.3
2)省資源	15	11		22	44	50.0	10		26	54	48.1	11		30	48	62.5	11		26	34	76.5	11		33	36	91.7
3)水の効率的利用及び日常的な節水	16	9		23	40	57.5	7		28	34	82.4	9		26	22	118.2	12		35	44	79.5	12		41	44	93.2
4)化学物質使用量の抑制及び管理	12	8		16	32	50.0	7		19	34	55.9	8		26	36	72.2	8		25	26	96.2	8		25	26	96.2
2 事業活動からのアウトプットに関する項目	54	28	△	72	126	57.1	25	○	86	142	60.6	31	△	88	104	84.6	31	△	71	104	68.3	34	○	93	112	83.0
1)温室効果ガスの排出抑制, 大気汚染等の防止	16	0		4	8	50.0	3		9	18	50.0	4		12	4	300.0	4		8	18	44.4	5		12	18	66.7
2)廃棄物等の排出抑制, リサイクル, 適正処理	29	26		60	108	55.6	19		62	106	58.5	24		66	88	75.0	24		49	72	68.1	26		69	82	84.1
3)排水処理	7	2		8	10	80.0	3		15	18	83.3	2		8	8	100.0	2		10	10	100.0	2		8	8	100.0
4)その他生活環境に係る保全の取組み等	2	0		0	0	#DIV/0!	0		0	0	#DIV/0!	1		2	4	50.0	1		4	4	100.0	1		4	4	100.0
3 製品及びサービスに関する項目	51	18	○	36	72	50.0	14	○	33	62	53.2	17	○	54	134	40.3	17	○	44	62	71.0	17	○	44	60	73.3
1)グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入, 使用等)	13	7		14	28	50.0	7		14	28	50.0	7		24	52	46.2	7		15	26	57.7	7		15	26	57.7
2)製品及びサービスにおける環境配慮	38	11		22	44	50.0	7		19	34	55.9	10		30	82	36.6	10		29	36	80.6	10		29	34	85.3
4 その他	29	4	△	8	16	50.0	6	○	14	24	58.3	6	○	14	50	28.0	6	○	9	10	90.0	5	○	13	14	92.9
1)生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組	7	0		0	0	0.0	1		2	4	50.0	0		0	0	0.0	0		0	0	0.0	0		0	0	0.0
2)環境コミュニケーション及び社会貢献	17	4		8	16	50.0	5		10	20	50.0	4		10	42	23.8	4		9	10	90.0	5		13	14	92.9
3)施主・事業主における建築物の増改築 解体等にあたっての環境配慮	5	0		0	0	0.0	0		0	0	0.0	2		4	8	50.0	2		0	0	0.0	2		0	0	0.0
合計	240	117	48.8%	278	504	55.2	91	37.9%	277	460	60.2	119	49.6%	342	546	62.6	124	51.7%	298	412	72.3	127	52.9%	335	430	77.9

取組へのコメント(2024.1.25)

取組み項目数は前年比102%で微増とはなったが、特にエネルギーの日常的な節約に関しての取組みが弱く今後の課題となる。

消費電力の大きい空調機器の管理について、工場内の空調機設定温度管理では以前のように設定温度を勝手に変えるような事は無くなり、適正に管理出来るようになってきている。工場内の環境改善について、旧館2階の排煙対策による間仕切り工事実施にて、夏場の暑さ対策にも貢献し環境改善にも繋がった。

廃棄物の抑制について、新たに裁断機を導入した事により歩留まりの向上に繋がっており廃棄物抑制での環境改善にも貢献出来た。

【取組評価】

◎極めて良好

○良好

△やや悪い

▲極めて悪い

6. 環境目標の実績と評価結果

承認	管理責任者	事務局
宝和 2024. 3. 1 大井	宝和 24. 3. 1 佐々木	事務局代行 2024. 3. 1 菅原希保

2023年度の状況 (評価…◎目標達成, ○目標未達だが良好, △目標未達で課題あり, ×極めて悪い)

目標及び実績項目	単位	2021年	2022年	2023年			評価	
		実績	実績	目標	実績	前年比		
①温室効果ガス排出量 ※	Kg-CO ₂	310,844.1	299,180.8	340,000.0	290,165.2	97.0%	◎	
②廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	リサイクル	t	103.7	95.7	90.0	89.7	93.7%	○
	中間処理等	t	0	0	0	0	-	-
	最終処分量	t	0.4	0.0	0	1.4	-	-
③-1総排水量	公共用水域(河川)	m ³	750.5	687.0	700.0	677.0	98.5%	◎
③-2水使用量	上水	m ³	750.5	687.0	700.0	677.0	98.5%	◎
④化学物質使用量	接着剤	t	0.39	0.48	0.4	0.4	75.8%	◎
⑤エネルギー使用量	購入電力	MJ	4,293,125.0	4,010,551.6	4,915,000.0	4,071,301.0	101.5%	○
	化石燃料	MJ	452,179.6	454,470.7	394,000.0	423,539.9	93.2%	◎
⑥物質使用量		t	2,205.8	2,318.2	2,248.0	2,689.2	116.0%	○
⑦循環的利用物質		t	-	-	-	76.6	-	-
⑧総製品生産量		t	2,101.6	2,222.5	2,245.0	2,599.6	117.0%	○
⑨環境教育等の実施		回	18	18	20	23	127.8%	◎
⑩火災・漏洩事故件数		件	0	0	0	0	0.0%	◎
⑪環境効率	百万円/ton-CO ₂	8.01	8.84	9.00	10.35	117.1%	◎	

※購入電力排出係数：0.449kgCO₂/kWh(2021年度中部電力)

【評価】

①温室効果ガス(二酸化炭素)排出量 全体評価は◎。

夏場の猛暑続きにより空調機の稼働率が高くなり7月、8月、9月のCO₂排出量は極端に跳ね上がっている。ただし、設定温度管理が行き届いてきており、以前みたいに極端に設定温度を変える事は無くなった事でCO₂排出量の抑制に努めている。旧館2階についても煙害対策による間仕切り工事を行ったところ、空調機の効率化にも効果があり、約12%の消費電力削減に繋がっている。

化石燃料については、不具合での客先出向選別が少なくは無く、無駄なガソリンの浪費が目立つ。

②廃棄物排出量 全体評価は○。

昨年同様に裁断時に発生する端材の廃棄物が殆どであり、車輛関連ではヘッドレストで仕様するレザーの端材も重量を増している。

昨年11月に新規裁断機、自動延反機を導入し、歩留まり改善、つかみ代改善などでの裁断時に発生する端材の削減に期待が持てる。

③総排水量及び水使用量 全体評価は◎。

一昨年に全トイレの手洗い場を自動水栓に切り替え以降、水道の出しっぱなしは無くなり水道使用量は順調に推移している。

また、工場内設備で水資源を使用するクーリングタワーについて、暴風による外部への流出を防止する為、設備に囲いを設け出来るだけロスが無い様に対策を行った。

④化学物質使用量 全体評価は◎。

VOCを含む原材料で接着剤を家具組立てで使用しているが、月次毎で使用量を把握している。繁忙時期、閑散時期で使用量に増減が激しく、評価しにくいところはある。

⑤エネルギー使用量 購入電力は○。化石燃料は◎。

電気エネルギー使用量は、夏場の猛暑も続き7月、8月、9月の消費電力が一昨年比13%増となっており、省エネ仕様への設備切替への検討が急務とされる。目標には達成ではあったが、一昨年比では増加の実績となった。化石燃料では、目標には達成しているものの相変わらず、不具合品流出による客先への出向選別が目立っており、無駄なガソリンの浪費が目立つ。

⑥⑦⑧ 特記事項なし

⑨環境教育等の実施 全体評価は◎。

実績としては23件で目標達成。環境実績の報告と課題への取組みの呼びかけを管理職及び部署内ミーティング時に毎月展開している。

また、セミナーなど積極的に参加し、主立つ内容として消費電力の可視化などのセミナーを受講。

⑩火災・漏洩事故件数 全体評価は◎。エコアクション21活動を始めて以来無災害を継続できている。

⑪環境効率 全体評価は◎。

下期後半にて売上げ高も順調に伸び、CO₂排出量はそれに比例して増加する事も無く、環境効率は今までに無い良好な実績をたどり特に11月では「14.46」があり、希に見る実績があった。達成状況については2018年度以来の目標達成となった。

2024年環境経営活動計画

◎ 目標達成
○ 目標達成、但し課題あり
△ 目標未達
× 実績残せず

承認	管理責任者	事務局
宝和 2024. 3. 1 大井	宝和 24. 3. 1 佐々木	事務局代行 2024. 3. 1 菅原希保

□ 計画 □ 実績

《2024年度》

目標項目	目標項目	施策	対象組織	責任者	実績収集	年間計画												合計	評価			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
1 二酸化炭素排出量削減	電気使用量 405000kw/年 33750kw/月 昨年実績 3%減	電気使用量(kwh)の削減	知多工場	環境管理責任者	堀部係長	計画	40,000	40,000	29,000	29,000	29,000	29,000	40,000	40,000	40,000	30,000	29,000	30,000	405,000			
		・エアコンプレッサー効率化(エアコン漏れ削減)		片山主任	佐々木部長	計画	調査・実施	調査・実施	調査・実施	調査・実施		効果確認									0	
		・照明のLED化、人感センサー化		片山主任	佐々木部長	計画																
	ガソリン使用量 11400ℓ/年 950ℓ/月 昨年実績 3%減	ガソリン使用量(ℓ)の削減	全社	大井専務	堀部係長	計画	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950		11,400	
		社用車の走行距離の確認		安全運転管理者	堀部係長	計画																0.0
		二酸化炭素排出量 282,000Kg-CO2/年 昨年実績 3%減		環境管理責任者	佐々木部長	計画	27,000	27,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	23,000	27,000	27,000	23,000	23,000	25,000		282,000	
2 廃棄物排出量削減	歩留率	96%以上	歩留率の向上(裁断マーカ一歩留まり改善)	知多工場	部門責任者	佐々木部長	計画	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96		
不良数	500PPM以下	不良率の低減	部門責任者		榊原課長	計画	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500			
産廃物排出量	87t以下/年 7.25t以下/月 昨年実績 3%減	産廃物排出量の削減 最終処理施設の視察	環境管理責任者		佐々木部長	計画	7.25	7.25	7.25	7.25	7.25	7.25	7.25	7.25	7.25	7.25	7.25	7.25	7.25	87.0		
3 化学物質使用量削減	接着材使用量	10%削減	SINCOL フォームポンド(家具用)	製造グループ	佐々木部長 /田中係員	計画	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	336		
4 総排水量削減(節水)	水道使用量	660m3以下/年 55m3以下/月 昨年実績 3%減	水道使用量の削減(m3) トイレ放水タンクの容量縮小化		管理グループ	田中係員	計画	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	660	
5 紙使用量削減	コピー紙使用量	昨年実績10%減 昨年実績 137,935	書類のデータ化 両面コピーの活用	知多工場	管理グループ	田中係員	計画	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	120,000		
6 火災・漏洩事故の防止	災害発生件数	0件	労災事故の撲滅(安全教育の推進) 作業環境測定の実施 事故及び緊急事態の想定訓練(消防等)		安全管理者	佐々木部長	計画															
7 環境教育	環境効率	10以下(売上高÷CO2排出量) 昨年目標 9.0	環境効率(売上高/二酸化炭素1トンの向上)	管理責任者	環境管理責任者	佐々木部長	計画	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5		
			環境関連教育の実施	安全管理者	環境管理責任者	佐々木部長	計画															20
			環境レポートの作成及び公開	管理責任者	環境管理責任者	佐々木部長	計画															
3ヶ月毎の活動評価																						
計画変更記録																						
日付	記号			環境管理責任者 実績確認欄																		

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価結果一覧及び違反、訴訟等の有無

承認	管理責任者	事務局
		

(1)違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の適用の条件及び届出・報告・測定・記録・遵守事項の要求事項について下表のとおり、問題なく適正に対応しました。また、環境関連法規等への違反や訴訟もなく、外部からの指摘や苦情もありませんでした。

豊橋工場は継続して閉鎖中ですが、社外からの問題指摘や苦情もありませんでした。

(2)宝和化学(株)環境関連法規制等一覧

NO.	関連法令・条例			主な届け・記録	法令・条例 改正チェック	違反・訴訟・ 苦情の有無	実施状況
	法令等の名称	条項	最終改正日				
1	環境基本法	法8 法16	2021.5.19		2024.02.15確認	あり(なし)	事業者の責務(公害防止、 廃棄物への対応、リサイクル、 行政への協力)
2	浄化槽法	法3～11	2022.2.28	浄化層の保守点検、定期検査他	2024.02.15確認	あり(なし)	法定検査3/30 保守点検 3/13, 6/12, 12/15 定期清 掃2/7, 5/19, 8/7, 11/6
3	労働安全衛生法	法65, 6 6	2023.4.1	作業環境測定記録、 健康診断実施記録等	2024.02.15確認	あり(なし)	作業環境測定 3/31(有機溶 剤)、12/21(有機溶剤/粉じ ん)、健康 診断 4/27
4	騒音規制法 愛知県民の生活環境の保全 等に関する条例	条例25	2021.12.24 2022.3.25	騒音又は振動を発生する施設の 届出	2024.02.15確認	あり(なし)	該当設備2013/9/3～生産停止 2017/1/5～生産再開
5	振動規制法 愛知県民の生活環境の保全 等に関する条例	条例25	2021.12.24 2022.3.25	騒音又は振動を発生する施設の 届出	2024.02.15確認	あり(なし)	該当設備2013/9/3～生産停止 2017/1/5～生産再開
6	廃棄物の処理及び清掃に関 する法律	法6, 11, 12	2022.6.17	産業廃棄物マニフェスト	2024.02.15確認	あり(なし)	廃棄物の適正保管管理、収集運搬 委託契約書確認、マニフェストの管理、 管理票交付等状況報告4/13、
7	PRTR法	法5～1 3	2021.10.20	第一種指定化学物質の排出量 及び移動量の届出書	2024.02.15確認	あり(なし)	取扱量の届出4/5(実績ゼロ) VOC使用量等調査4/6
8	消防法	法3～9, 10～16	2023.2.21	消防設備点検記録	2024.02.15確認	あり(なし)	消防設備定期点検 5/17
9	危険性又は有害性等の調査 等に関する指針	全文	2022.5.31	作業環境測定証明書	2024.02.15確認	あり(なし)	有機溶剤及び粉じん作業環境測定 及び健康診断は一般と同時 4/27 環境測定 3/31(有機溶剤)、12/21 (有機溶剤/粉じん)
10	工場立地法	法23, 2 8	2022.6.17		2024.02.15確認	あり(なし)	緑地、環境施設管理の実施、緑 地占有率27.42%(前年と同じ)
11	知多市との環境保全に関する 覚書 (知多市環境条例)	全文	2000.3.29	緑地保全、排風機等騒音振動に 係る届出	2024.02.15確認	あり(なし)	緑地面積変動なし
12	電気事業法	法42	2020.6.9	電気工作物の点検及び試験	2024.02.15確認	あり(なし)	設備定期点検 2/3, 4/5, 6/8, 8/7, 10/11, 12/15 法定年次点検 4/16
13	フロン排出抑制法	法16～ 18	2020.3.31	業務用冷凍空調機器使用時に おけるフロン類の漏えい防止 空調機簡易点検記録表	2024.02.15確認	あり(なし)	機器廃棄時のフロン類回収 空調機簡易点検 4/27, 7/28, 11/17
14	省エネ法	法4～7	2023.5.17	エネルギー使用の合理化に努め るとともに、電気需要の平準化に 資する措置を講ずる。	2024.02.15確認	あり(なし)	建築物対策としての省エネ 基準の適合義務
15	特定化学物質の環境への排 出量の把握等及び管理の改 善の促進に関する法律(化管 法)	法5	2021.10.20	PRTR制度とSDS制度の対応、化 学物質の管理改善と環境保全上 の支障を未然防止する。	2024.02.15確認	あり(なし)	特定化学物質の環境への 排出量の把握及び管理

NO.	関連法令・条例			主な届け・記録	法令・条例 改正チェック	違反・訴訟・ 苦情の有無	実施状況
	法令等の名称	条項	最終改正日				
16	資源有効利用促進法	法4 法5	2022.9.2	廃棄物のリサイクル(原材料としての再利用)、3Rの実行を推進する	2024.02.15確認	あり(なし)	リユース・リデュース・リサイクルの推進
17	容器包装リサイクル法	法11~13	2015.3.31	容器包装廃棄物を再利用化し、ゴミの減量化を図る。事業者には再商品化を行う。	2024.02.15確認	あり(なし)	容器包装廃棄物の再利用化の検討
18	家電リサイクル法	法6	2023.12.27	特定家庭用機器廃棄物の排出の抑制を行う	2024.02.15確認	あり(なし)	家電4品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機)の正しい処分
19	温対法(地球温暖化対策の推進に関する法律)		2022.6.1	温室効果ガス排出の抑制を図り、地球温暖化防止に努める	2024.02.15確認	あり(なし)	事業者、一般家庭においては約4割の排出量削減に向けての活動が必要
20	水質汚濁防止法	法5 法12~14 法19~20	2021.10.5	公共用水域や地下水の水質防止を図り、国民の健康を保護し、生活環境を保護する。	2024.02.15確認	あり(なし)	工場排水等の水質汚濁の防止
21	化管法	法4 法5	2021.10.20	有害性のある化学物質の排出量を把握し、管理、改善を促進する	2024.02.15確認	あり(なし)	化学物質の環境への排出量の把握及び管理
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							

9. 代表者による見直し議事録

別紙7 エコアクション21 代表者による見直し議事録		実施日	承認(経営者)	管理責任者	事務局
		2024.03.01	宝和 2024. 3. 1 大井	宝和 24. 3. 1 佐々木	事務局代行 2024. 3. 1 菅原希保
〔情報源〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月次報告会資料(エコアクション21環境実績資料) 2. 宝和化学の環境への負荷自己チェック状況(2023年1月～12月の環境実績資料) 3. 宝和化学の環境への取組の自己チェック状況(2023年1月23日付チェックシート) 4. 2023年1月～12月の活動報告書(2022年環境経営活動レポート) 5. 2023年1月～12月の環境関連法規等チェックの報告書 6. 環境方針(確認、変更無し) 				
〔適切性の確認〕 目的と合っているか？	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度も環境経営方針に基づき事業活動の中で環境への影響について目標達成が出来るよう展開を行った。 2. 環境効率率は7カ月間の目標達成をしており年間を通しても目標値の9.00に対し10.35となり環境経営開始後初の目標達成となった。 3. これらのレビューは毎月の月次報告会議の中で活動内容と実績報告を行っており、各セクション幹部間にて認識すると同時に意識的に改善活動を行う事ができた。 4. 火災及び漏洩事故はエコアクション21の活動を開始以来無災害を継続している。 5. 環境関連法規等の違反及び関連する訴訟はありません。外部からの苦情/指摘もありません。 				
〔妥当性の確認〕 過不足ないか？	<ol style="list-style-type: none"> 1. 温室効果ガス(二酸化炭素)排出量に関しては、特に空調機の老朽化によるプレッシャーが掛かるが夏冬の設定温度管理状況を頻りに監督。又、工場中2Fにて煙害対策を目的とした間仕切りが奏功して空調機の効率化に効果を齎し約12%の消費電力削減となった。 2. 昨年、反省事項として挙げた労災事故に関しては無事故日数継続が出来ている。…今後も継続できるよう監視を行う。 3. 産業廃棄物処理量は品質不具合処分量を心配したが、工程内不具合が減少している割に前年比109.7%と増加した。今後の課題としては不具合発生量は元より歩留りの改善も意識した活動展開を実施する必要性有り。 				
〔有効性の確認〕 目標に対する達成度 効果があるか？	<ol style="list-style-type: none"> 1. 先にも述べたが環境効率は数値的に前年比117.1%と大幅に目標達成が実現できた。主な原因は、空調関連の意識的コントロールや旧館2F作業環境の改善。新規NC裁断機導入による消費電力の削減が奏功した。 2. 温室効果ガス(二酸化炭素)排出量に関しても、前年比97%と減少傾向に有り◎評価。昨年度導入した電流計測器にて各設備の電力量を調査しつつ空調関連の温度管理強化と意識向上が改善に繋がった。化石燃料に関しては、品質不具合による客先対応が多く無駄な燃料消費が悪影響を及ぼしているが前年比は93.2%と減少した。この辺りは事業内容としても反省点が残る内容となった。 3. 総排水量及び水使用量に関しては、トイレの自動水栓への切り替え効果と工場内設備で使用のクーリングタワーの外部流出対策を実施した事も貢献していると判断する。 4. 環境教育に関しても実績報告と課題への取り組み啓蒙を管理職から部署別ミーティング等で実施し、外部セミナーにも積極参加した。 				
〔代表者コメント〕 指示事項	<p>2023年度環境目標と実績の評価結果から11の目標設定項目に対して8項目が◎評価となった。何よりも環境効率での目標達成は2018年度以来の事となり活動の評価に繋がる。但し、皮肉にも客先の稼働停止による操業の低下も数値的に影響を及ぼしている。又、作業環境改善に伴う2Fの間仕切り工事はそれなりの空調効果も得る事が出来たが残暑のタイミングであったので、今年の夏場での状況での評価が正となる。対応延期となったが車両関連事業での2直勤務化によるエネルギー消費も今後発生するので注意して監視して行きたい。</p> <p>2024年度に向けての環境活動重点項目に関しては下記内容を指示する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①二酸化炭素排出量削減：空調管理の徹底を継続し節電に努める。又、夏場の高温対策として遮熱対策の検討から実施する。設備関連に関しては極力稼働ロスを削減しながら破損等による過剰電力の消費を削減する事。 ②廃棄物排出量削減：引続き工程内不具合の削減に努め廃棄物を減少させる事と歩留り改善活動を展開する事。 ③化学物質使用量削減：VOC物質を含有する接着剤の使用量抑制を継続する事。 ④総排水量削減：この項目に関しては節水啓蒙有りきで展開を継続する事。 ⑤紙使用量削減：データでの取り扱いを増やす事とコピーに関しては両面コピー等節約に努める事。 ⑥環境教育：今年度も外部環境調査と自社状況の把握に努め状況理解の上で教育活動を行う事。 				